

令和4年度 議会報告会

認知症対策について

三島市 福祉教育委員会

委員長

宮下 知朗

副委員長

村田 耕一

委員

野村 諒子

佐野 淳祥

大石 一太郎

藤江 康儀

佐藤 寛文



はじめに

□認知症とは…

- ・脳の病気や障がいなど様々な原因により、認知機能が低下し、日常生活全般に支障が出てくる状態。
- ・年齢を重ねるほど、認知症になりやすくなる。

□加齢によるもの忘れと認知症によるもの忘れの違い（一例）

	加齢によるもの忘れ	認知症によるもの忘れ
体験したこと	一部を忘れる (例:朝ごはんのメニュー)	すべてを忘れている (例:朝ごはんを食べたこと自体)
学習能力	維持されている	新しいことを覚えられない
もの忘れの自覚	ある	なくなる
探し物に対して	自分で努力して見つけられる	いつも探し物をしている 誰かが盗ったなど、他人のせいにすることがある
日常生活への支障	ない	ある
症状への進行	極めて徐々にしか進行しない	進行する

はじめに

□ 主な認知症とその症状

● アルツハイマー型

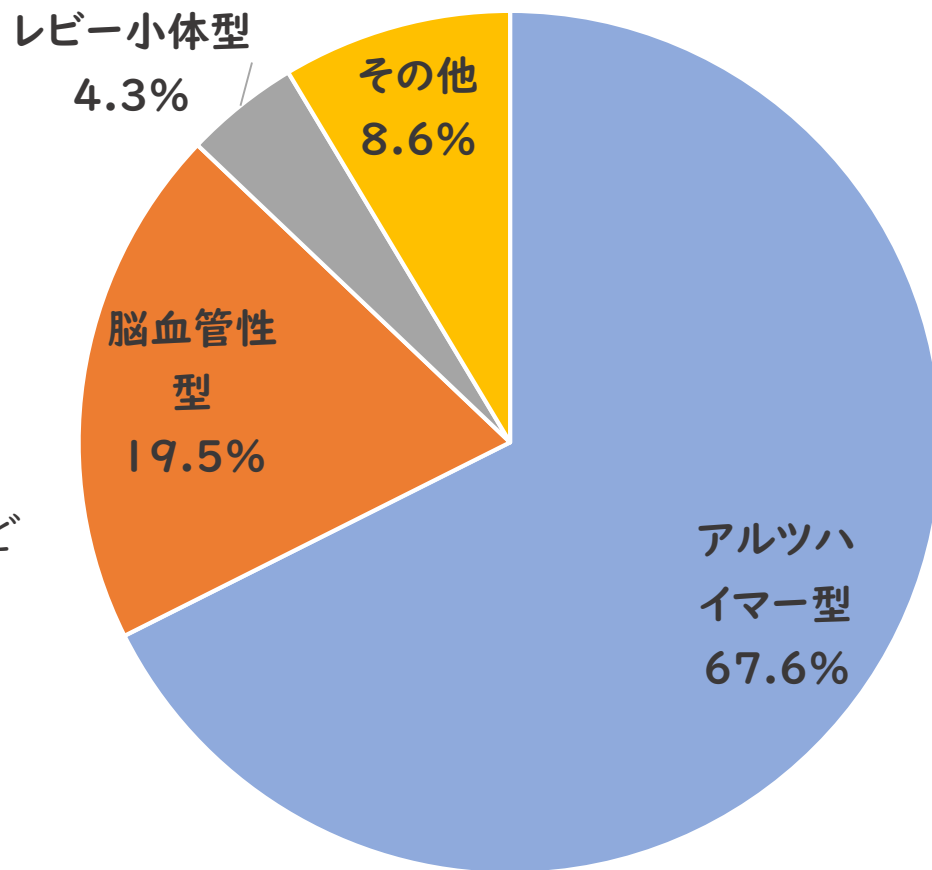
認知機能障害 (もの忘れなど)
もの盗られ妄想
徘徊
とりつくろい など

● 脳血管性型

認知機能障害
手足のしびれ・麻痺
感情のコントロールがうまくきかない など

● レビー小体型

認知機能障害 (注意力・視覚など)
認知の変動 幻視・妄想 抑うつ
パーキンソン症状
睡眠時の異常行動
自律神経症状 など



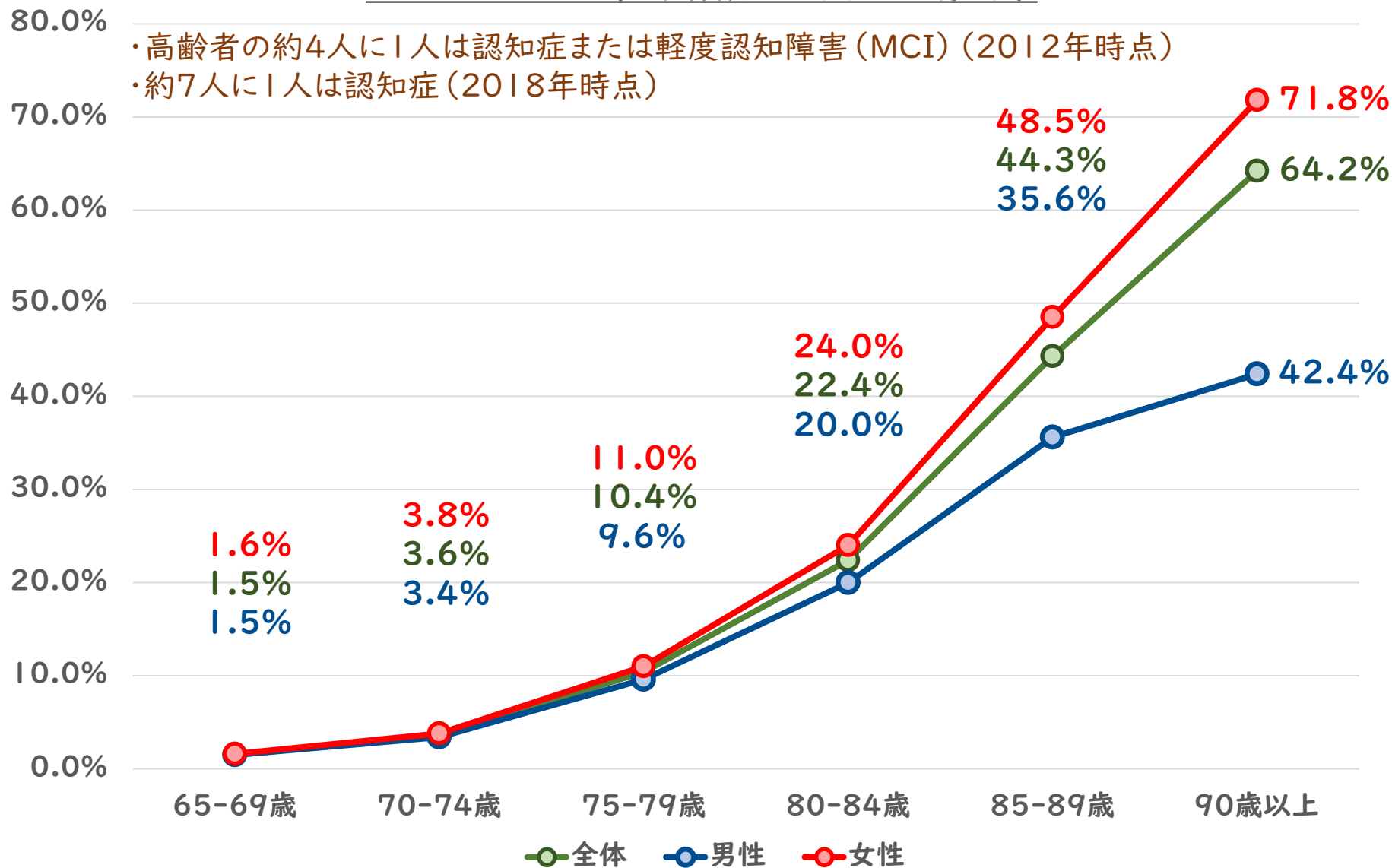
「認知症施策の総合的な推進について(参考資料)」(厚生労働省)
(<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000519620.pdf>)
を加工して作成

アルツハイマー型認知症などの変性性認知症を完全に治す治療法はまだない
➡できるだけ症状を軽くする、進行の速度を遅らせることが現在の治療の目標

はじめに

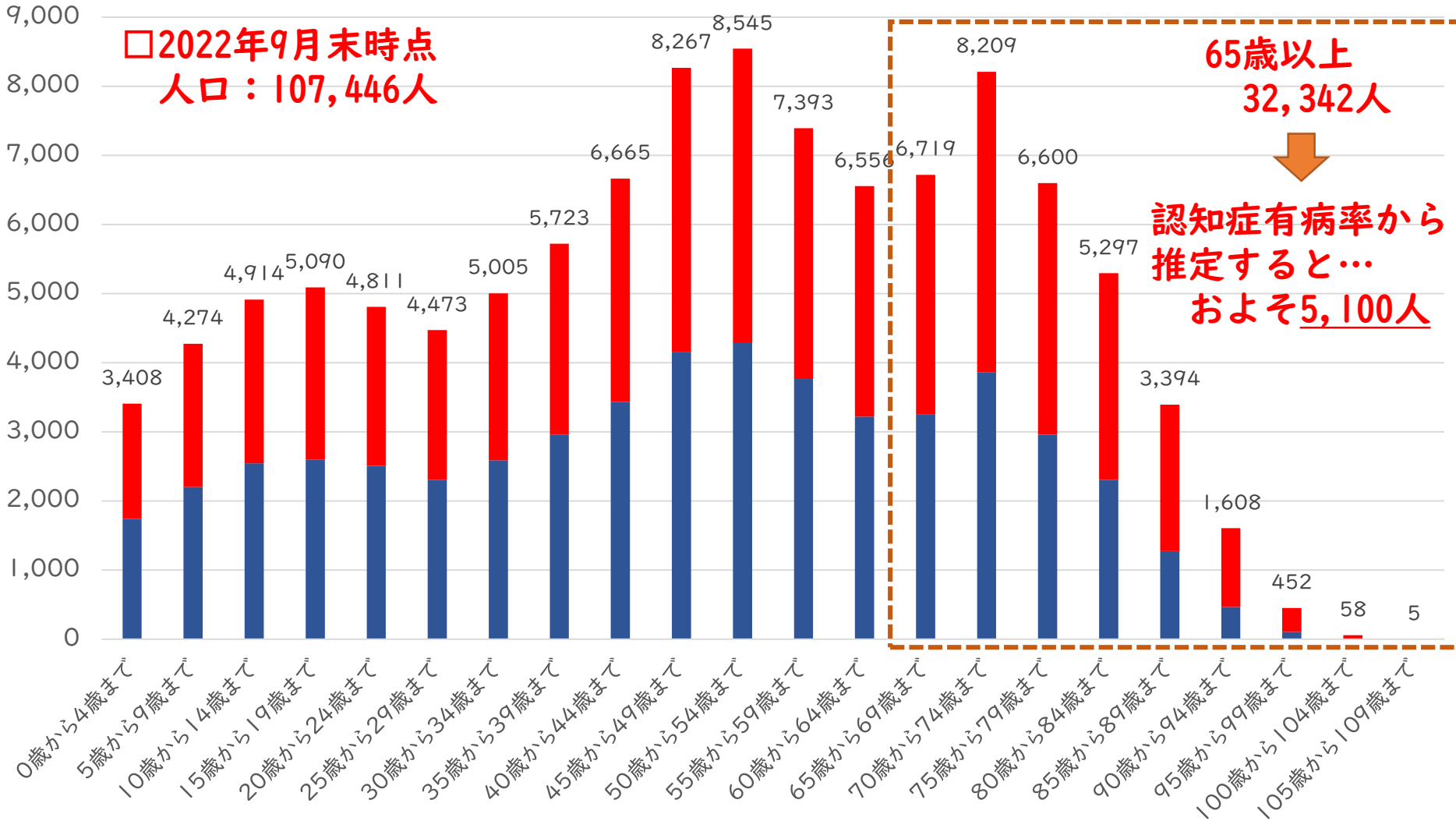
一万人コホート年齢階級別の認知症有病率

- ・高齢者の約4人に1人は認知症または軽度認知障害(MCI) (2012年時点)
- ・約7人に1人は認知症 (2018年時点)



【三島市】階級別の人口数集計 | 2022年9月30日現在

■ 男性 ■ 女性



□ 認知症高齢者および若年性認知症の人※…2,764人 (令和2年9月30日時点実績値)

※第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」Ⅱ以上の人数

認知症に対する理解を深め、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく過ごすことのできる社会を創っていくことが今後ますます重要となってくる。

国の取り組み～認知症施策推進大綱～

【基本的考え方】

認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進

【目指すべき社会】

認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会

【具体的な施策】

認知機能の低下のある人（軽度認知障害含む）

認知症を遅らせる取組（一次予防）の推進

認知機能の低下のある人（軽度認知障害含む）

早期発見・早期対応（二次予防）、発症後の進行を遅らせる取組（三次予防）の推進

認知症の人

認知症の人本人の視点に立った「認知症バリアフリー」の推進

① 普及啓発・本人発信支援

② 予防

③ 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

④ 認知症バリアフリーの推進
若年性認知症の人への支援・社会参加支援

⑤ 研究開発・産業促進・国際展開

認知症の人や家族の視点の重視

三島市の取り組み

① 普及啓発・本人発信支援

- 認知症講座
- 認知症サポーター養成講座
- 認知症ケアパス
- 世界アルツハイマー月間(9月)における普及啓発活動
- 認知症本人ミーティング

② 予防

- 一般介護予防事業
- 住民主体の「通いの場」
- 生きがい教室
- ファイブ・コグ(高齢者集団認知検査)
- 出張おれんじほっとサロン

③ 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

- 認知症初期集中支援チーム
- 認知症カフェ(おれんじほっとサロン)
- チームオレンジによる活動
- 認知症地域支援推進員
- ケアラー手帳

④ 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

- 認知症高齢者見守り登録事業(見守りネットワーク(31事業者))
- 認知症カフェ
- 個人賠償責任保険

- チームオレンジによる活動
- 認知症本人ミーティング
- 家族会

⑤ 研究開発・産業促進・国際展開

神奈川県大和市の取り組み



	大和市	三島市
人口	243,921人	107,446人
面積	27.06km ²	62.02km ²
高齢者人口	58,154人	32,342人
高齢化率	23.84%	30.10%
地域包括支援センター数	9カ所	5カ所

平成28年4月

高齢福祉課内に「**認知症施策推進係**」を新設
※新設当時3名体制 ➡ 現在7名体制（事務3名、保健師4名）

平成28年9月

「認知症1万人時代に備えるまち やまと」宣言

平成30年4月

「70歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言

令和元年4月

高齢福祉課から人生100年推進課に名称変更

令和3年9月

「大和市認知症1万人時代条例」制定



神奈川県大和市の取り組み

認知症施策推進大綱

「認知症―万人時代に備えるまちやまと」宣言

大和市認知症―万人時代条例

① 普及啓発・本人発信支援

- 認知症講演会
- 認知症(キッズ)サポーター養成講座
- 認知症サポーター育成ステップアップ講座など

② 予防

- 脳とからだの健康チェック(認知機能検査)
- コグニサイズ コグニバイク

③ 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

- 認知症灯台(市の専用ダイヤル・窓口) 認知症カフェ
- 公認心理師による認知症相談・介護者交流会

④ 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

- SOSネットワーク 位置確認支援事業 認知症カフェ
- 個人賠償責任保険 若年性認知症当事者と家族の会
- 認知症コンシェルジュ(認知症地域支援推進員)
- 認知症あおぞらミーティング(認知症の人との意見交換会)

⑤ 研究開発・産業促進・国際展開

まとめ ～本日皆様のご意見を伺いたいこと～

認知症とは…

- ・脳の病気や障がいなど様々な原因により、認知機能が低下し、日常生活全般に支障が出てくる状態。
- ・年齢を重ねるほど、認知症になりやすくなる。

➡ 誰もがなり得るものであり、高齢化の進展により今後増加するものと推察

認知症になっても自分らしく過ごすためには…

- ・できるだけ症状を軽くして、進行の速度を遅らせる
- ・認知症になっても本人・家族が希望を持って生活することのできる社会

➡ 「共生」と「予防」の取組をより充実させることが重要

- ・認知症に対する理解
- ・早期発見・初期対応による発症防止・進行抑制

これからの三島市にとって必要なことは…

- ・三島市の高齢化率は30.1%（令和3年9月末時点）
- ・今後ますます高齢化が進展するものと推察される

➡ 住み慣れた地域で自分らしく生活していくためには、今後どのような取組に注力することが望ましいのか？ 皆様のご意見をお聞かせください！！

ご清聴ありがとうございました。

